

平成 30 年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：25512
学校名：平岡中央学校

改訂のポイント

授業 DE THE CHANGE ～自分の力で学びを創り出す子へ～

【日常の授業実践を通して、子どもたちの「学び・心・体」を育む】

| 項目名 | 項目内容 | 項目内容の具体 | | |
|-----------------|--------------------|--|---|--|
| 目標 | 「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像 | ☆他者との対話を通して、協働して問題の解決に向かう子ども ☆獲得した知識や技能を使い、自らの学びを深めていこうとする子ども | | |
| 「学ぶ力」に関する成果や課題 | 学ぶ意欲 | 【昨年度の具体的な取組】 ○学ぶ意欲を引き出す課題設定 ○家庭での学習につながる指導の工夫 | 【成果】主体的に学習に臨む子の増加 ⇒「疑問や目あてをもって学習に臨む」子が多い ⇒「違う意見にも耳を傾け話し合う」子が多い | 【課題】課題探求的学習の充実 ◇「勉強していて、おもしろい楽しいと感じる」子の割合がやや低い |
| | 思考力・判断力・表現力等 | 【昨年度の具体的な取組】 ○対話を大切にした授業づくりの推進 ○「ジャンプの課題」の設定による活用力の育成 | 【成果】相手に考えを伝えようとする子の増加 ⇒「話の内容や順序を考え、相手に上手く伝わるような工夫をしようとする」子が多い | 【課題】対話を通して学びを深める意識 ◇「相手の説明や意見を終わりまで聞いている」子の割合がやや低い |
| | 基礎的・基本的な知識及び技能 | 【昨年度の具体的な取組】 ○重点単元での IT・少人数指導の有効活用 ○問題データベースの授業・宿題での活用 | 【成果】分かるために努力する子の増加 ⇒習ったことを繰り返し練習し、同じ間違いを繰り返さないように意識する子が多い | 【課題】基礎的基本的学力の向上の取組 ◇学校だけでなく家庭でも、計画的に学習をしていく意識がやや低い |
| 今年度の具体的な改善策（取組） | 取組の最重点 | 【取組の共有】 学び合いが生まれる質の高い課題設定及び、学び合いを支える生きて働く知識・技能の習得 | | |
| | 具体的な改善策（取組） | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">《学び合いが生まれる質の高い課題設定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他者との対話を必要とする質の高い課題を日常的に用意し、一人一人が学びの主人公として参加できる授業を目指す。 ○主体的に解決する課題探求的な学習の成立に向けて、一人一人の学びを見取り授業改善に生かしていく。 ○「聴き合い・学び合い」成立のためのツールとして、掲示物を利用しながら、目指す学びの姿を子どもたちと共有していく。 </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">《学び合いを支える生きて働く知識・技能の習得》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝の習熟タイムを活用した学習活動や、宿題・家庭学習の指導を徹底し学力の底上げを図る。また、基礎学力向上のプランについて家庭との連携を図り、効果的なものにしていく。 ○に一ごプロジェクトを中心に、少人数指導を充実させ、どの子も分かる・できる授業を目指す。 ○年2回計算・漢字コンテストを実施し、目標をもって学習に向かう態度を育てる。 </div> </div> | | |
| 検証の方法 | 各種調査や子どもの自己評価指標の活用 | ○日常の学習状況やテスト・ノートなどを、各教科の評価規準に基づいて評価し的確に把握する。 ○全国学力・学習状況調査や札幌市全体の共通指標の活用 ○全学級授業公開による子どもの姿の分析と授業の検証 | | |